

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性										
事業名	男女共同参画推進事業									
事業担当	所属	地域振興部 人権推進室					所属長	高橋 千寿子		
会計情報	事業コード	730302	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	01 社会福祉総務費	会計	01 一般会計 決算付属資料 120 頁
施策体系	施策コード	010302 施策名 男女共同参画の推進体制を充実させる								
計画期間	開始年度	昭和63年度	終了予定年度	令和2年度 関連計画名 第3次福知山市男女共同参画計画「はばたきプラン2011後期計画」						
根拠法令等										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()									
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合									
関連事業	男女共同参画保護救済事業									

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	男女共同参画社会の実現をめざして、福知山市男女共同参画推進条例に基づき策定する「第3次福知山市男女共同参画計画-はばたきプラン2011-後期計画」の趣旨を広く市民に啓発し、同計画に基づく施策を推進する。								
対象者	市民	対象者数	77,743	単位あたりコスト	0.3				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	京都ユニオンサービス株式会社、舞台照明CREW・SOLOOK								
事業概要 (簡条書き)	・男女共同参画審議会の開催 ・市民協働による啓発事業 ・DV防止啓発関係(ワークショップ、街頭啓発等) ・男女共同参画に関する情報収集と施策展開に関する調査研究 等 ・女性活躍推進事業 ・女性起業家応援プロジェクト事業								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	報酬・報償費・旅費	639	審議会委員報酬、はばたきセミナー等講師謝礼、女性相談研修等参加旅費等						
	需用費・役務費	432	セミナー等チラシ作成用紙、ポスター等印刷、郵送料、電話代等						
	委託料	44	はばたきフェスティバル舞台照明委託						
	使用料及び賃借料	81	バス借り上げ料、高速道路使用料等						
	負担金補助及び交付金	113	研修参加負担金、女性活躍応援事業補助金						

III 予算執行状況										
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	2,457	2,182	1,755	1,693					
	② 補正予算	0	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0	0					
小計(①~③)	2,457	2,182	1,755	1,693						
予算財源内訳	① 一般財源	1,924	1,753	1,337	1,417					
	② 国支出金	0	0	0	0					
	③ 府支出金	533	429	418	276					
	④ 地方債	0	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	△ 136	0	0	0					
	② 配当予算	2,321	2,182	0	0					
	③ 執行額	1,272	1,309	0	0					
	④ 執行率	54.8%	60.0%							
人概 工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	2.47/0.26	2.84 / 0.15	2.84 / 0.15	0.00 / 0.00					
	② 概算人件費	20,410	20,410	20,410	0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	21,682	21,719	20,410							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	人権問題啓発事業補助金		種類	民生費府補助金		実績金額	311	決算付属資料	24 頁
	特財名称			種類			実績金額		決算付属資料	頁
	特財名称			種類			実績金額		決算付属資料	頁

IV 業績指標									
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	審議会、委員会等の女性委員割合	%	28.5 / 25	29.4 / 27	29.6 / 30	/ 30	30		
	セミナー、講座への参加者数	人	486 / 900	648 / 950	1084 / 1050	/ 1050	1050		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標		
	講座等開催回数	回	16 / 16	20 / 16	16 / 16	/ 16	16		
	単位あたりコスト		31.13	63.60	81.79				
	情報紙発行部数	部	2000	2000	2000 / 2000	/ 2000	2000		
	単位あたりコスト		0.25	0.64	0.65				

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・セミナー等については、企業や民間団体等と連携して開催している。また、女性団体の新規登録もあり、市民協働による啓発事業を実施できている。 ・女性活躍推進事業の実施には、商工団体や民間団体との連携が重要であるが、依然としてつながりは弱いため、今後も連携を強化していく必要がある。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・国府事業の活用によりコスト削減ができている。また、必要に応じて負担金を求めている。 ・受益者との負担関係については、他市町村とも比較をしながら、今後も検討を続ける。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・年度ごとに年次報告書を作成し、成果実績についても推進会議、審議会等で審議し、事業の実施状況や効果について、広く公表している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> ・はばたきプラン2011後期計画に基づいた施策の推進を図ることができた。また、同計画は女性活躍推進計画にも位置づけしており、新たに女性活躍推進事業として京都府や商工団体等と連携し、施策を展開している。 ・はばたきセミナーは、昨年度より1講座減少したが防災食の試食を盛り込んだり、また「女性に対する暴力をなくす運動期間」には要対協と共催し、児童虐待とDVについてセミナーを実施するなど市民のニーズに沿ったセミナーを展開した。 ・各セミナーの広報についても、テーマにより広報範囲を広げる等工夫した。 ・女性活躍応援事業補助金については、1団体からの申請があった。 ・女性の起業支援については、昨年度に引き続き参加者から高い評価を得た。またセミナー終了後に参加者の意見交流会の場を設けた。 ・DV防止啓発では、自治会等にも幅広い広報を行い、相談窓口の周知に努めた。また街頭啓発を昨年度から2か所加え、4か所実施した。 		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、ニーズを把握しながら、より参加に結びつく内容を選定するとともに、早めの広報に心がけ、テーマに応じて広報対象範囲に強弱をつけたり、関係団体等への積極的な参加呼びかけを行なっていく。また、男女共同参画センターだけでなく、人権関連施設等地域に集客力のある施設の協力を求め、広く地域住民への啓発ができるよう、情報紙の発行による情報発信や男女共同参画センター事業の広報とともに、セミナーの開催場所の選定等も工夫し、引き続き参加者の増加をめざす。 ・女性活躍推進事業については、京都府や商工団体等との連携をさらに強化し、より効果的なものとなるよう引き続き女性の社会参加の促進及び女性活躍の推進を図っていく。 ・DV防止啓発については、相談者数も増加傾向にあるため、相談窓口の広報や相談員のスキルアップに努め、DVのみならずあらゆる暴力の根絶に向けた啓発や支援を行い、男女共同参画社会の早期実現をめざす。 		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>○セミナーは市民向けと企業向けに分け、京都府の補助事業を利用したり、企協推、商工会議所等と共催するなど実施しているが、アンケート結果なども踏まえ、研修内容や方法を検討するなど関係機関と連携を強化する必要がある。</p> <p>○女性起業家セミナーは、市内女性起業家を含めるなど起業をより身近に感じるなど工夫し、地域に潜在する女性の創業意欲を高め、女性活躍支援を実施する。</p> <p>○DV防止啓発は、若年層に対する啓発が特に必要である。現在は、市内高校生を中心としたワークショップを実施しているが、対象を中学生や大学生まで拡大するなど、広く啓発に努める必要がある。</p>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---